



現場かわら版

第2号
2016/1
WINTER

工事の情報や様子を紹介します

吾妻山の雪うさぎ

吾妻山には、毎年春先になると降り積もった雪が溶け、出現した雪形がうさぎの形をしていることから、「雪うさぎ」と呼ばれ親しまれています。

吾妻山の雪うさぎは、長く厳しい冬を越え暖かい春の始まりを告げる、福島市の風物詩です。



一問一答インタビュー TOPICS

着工から3ヶ月が経過し、順調に工事が進んでおります。引き続き、ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

さて、今号では、大原総合病院の佐藤勝彦副理事長兼統括院長と、設計を担当した伊藤喜三郎建築研究所の山本憲彦さんに、一問一答形式で大原総合病院移転新築工事への思いを語っていただきました。



一般財団法人 大原総合病院 副理事長兼統括院長 佐藤 勝彦

Q. これから完成する新病院は、福島市でどのような役割を担っていきたいですか。

A. 新病院のコンセプトは、「福島市の中心市街地において市民病院的な役割を担い、救急と専門医療を主軸とした急性期に特化した病院とする」といたしました。病気はいつ発生するか予測できません。急病に素早く的確に対応できる病院があれば安心して暮らすことができます。新病院は、健康で安心できる街づくりにも貢献していきたいと考えております。

Q. 地域の皆様に一言お願いいたします。

A. 新築を契機に患者さまのための医療機関として連携強化し、福島の医療に貢献して行くことが地域の皆さまへの恩返しと考えております。約2年間の工事期間中、大変お世話になることと存じますが、ご理解とご協力よろしくお願い申し上げます。



株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 設計本部 第一設計部長 山本 憲彦



Q. 新しい大原総合病院の設計コンセプトやこだわりを教えてください。

A. ①安全安心で24時間医療を提供可能な施設、②「シームレス」と「マルチコア」によるスムーズな施設、③人に優しく地域に開かれた施設、④将来の成長と変化に対応する施設をコンセプトに新病院を計画いたしました。

Q. 設計する上で最も大切にしていることを教えてください。

A. 私たちは病院設計(計画)をする上で、セーフティ(安全安心)・サスティナビリティ(永く使い続けられる)・ユニバーサルデザイン(誰もが使いやすい)設計を重視しています。



基礎工事を 進めております。



10月の着工後、建物の土台となる部分の工事を進めております。

重機による掘削の後、建物基礎下の土壌とセメントを攪拌し、人工地盤を形成する地盤改良工事を行い、その後、建物基礎の鉄筋配筋作業を行っています。

今後、コンクリート打設作業が1~2月と進んでいく予定です。



潜入

+

新 大原総合病院

1. レディース・こどもセンター



こどもセンター廊下
(写真はイメージです。)

6階病棟には「レディースセンター」「こどもセンター」を設置し、患者さまのプライバシーやアメニティに配慮した、女性と子供に優しい施設といたします。レディースセンターに「産婦人科外来」を隣接させ、産科と婦人科の待合・診察室を分離配置いたします。こどもセンターはNICU9床を設置し小児科との一体運営を図るとともに、小児個室を8室設け、感染症対策や付き添いにも対応できる環境を整備いたします。

健康大応援!!

フルーツ王国 福島

福島市はフルーツの産地として有名です。
ここでは、福島産フルーツの効能を紹介します。

栄養価満点の
万能フルーツ



りんご

りんごはたくさんの栄養分を含んでいる万能フルーツです。効能もたくさんあり、気管支炎や、痰を取り、炎症を抑える効果などがあるとわれています。さらに、りんごを食べるとコレステロールと血圧が下がり、高血圧が原因となることの多い心臓病や脳卒中の予防効果もあるとわれています。

発行元



鹿島・佐藤・菅野特定建設工事共同企業体 大原総合病院移転新築JV工事事務所
〒960-8101 福島県福島市上町2-5 藪内ビル2F TEL. 024-563-1135

次号は平成28年4月の発行予定です。